

令和5年度 全国体力・運動能力・ 運動習慣等調査の結果について



○種目・・・握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、
20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

5年生を対象とした「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」の令和5年度の本校の結果についてお知らせいたします。

男子は、「握力」「上体起こし」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」の5種目において全国平均を上回る結果となり、「長座体前屈」「反復横跳び」「20m シャトルラン」の種目は全国平均を下回りました。

女子は、「握力」「ソフトボール投げ」の2種目において全国平均を上回り、「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20m シャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」の種目は全国平均を下回りました。

「児童質問紙」においては、「運動は大切」「体育の授業は楽しい」「体育の授業に進んで参加している」と回答した児童の割合が全国より男女ともに多く、1週間の総運動時間も全国に比べて多いことから、授業改善によって運動に親しみ取り組んでいる状況が見られます。

反面、授業での振り返り時間の確保や ICT 機器活用の頻度が全国に比べて低く課題が残りました。また、学習以外で TV、DVD やゲーム機、スマホ等の画面を見ている時間が全国より長いという結果は今年度もこれまで同様で、課題として継続しています。

本校としましては、これらの結果を受け、「体育科の授業改善」「児童会活動と連携した体力向上の取組」「休み時間等の体を使った遊びの推進」等を組織的に進めてまいります。5年生だけではなく、全学年で全種目の新体力テストの実施を通して児童一人一人の成長を大切に、運動への関心意欲を高める工夫を進めるなど、保護者や地域と連携・協働しながら、バランスのとれた体力の向上を目指していきます。

